

SHOWA GAKUIN 昭和学院

昭和学院中学校・高等学校

〒272-0823 市川市東菅野2-17-1 TEL 047-323-4171~5

<http://www.showa-gkn.ed.jp/js/> FAX 047-326-5310

昭和学院 広報

第29号

2018.12.22(土)



▲台北市立育成高級中学校との交流

11月14日(第1班)、15日(第2班)から3泊4日で高校2年生による台湾修学旅行が行われました。本校では8年間にわたり平和学習として、沖縄修学旅行を実施してきました。しかし、これからは国内だけでなく海外に目を向ける必要があると考え、台湾修学旅行に進展しました。日本は日清戦争に勝利した1895年から日本が敗戦する1945年までの約50年間、台湾を統治していました。日本は武力的に台湾全土を鎮圧しようとした一方、台湾のインフラ整備、製糖業の振興、専売事業の確立、医療・衛生・都市政策を開始するなど台湾社会を近代化に向けて大きく前進させました。その近代化に貢献した多くの日本人は「台湾を愛した日本人」として、今でも台湾の教科書などで紹介され続けています。

- 1日目 - 成田空港出発⇒台湾桃園空港到着⇒九份見学(「千と千尋の神隠し」のモデルになった町並み) - 2日目 - 学校交流



▲士林夜市

1班：台北市景文高級中学校(私立)、
2班：台北市立育成高級中学校(公立)
⇒歴史的建造物の見学(総統府、二二八公園&記念館、国立台湾博物館、國父史蹟記念館など)⇒士林夜市(2班は3日目) - 3日目 - B & S プログラム：台湾の大学生の案内による台北市内の自由散策(事前にコースを決定)⇒レクリエーション

- 4日目 - 故宮博物館⇒忠烈祠(英靈を祀っている場所)⇒台湾桃園空港出発⇒成田空港帰着

宿泊は台北市内の5つ星ホテル：



▲本場の料理を堪能

シーザーメトロ。国際人として相応しいホテルでのマナーも学びました。1班では3日目、2班では2日目の夜にホテル大宴会場において合同レクリエーションが行われました。5つの団体による趣向を凝らした出し物に大いに盛り上がり、学年全体が一つになりました。今回の修学旅行は、初めての海外ということで不安もあったと思います。しかし、いろいろな場面で生徒の頼もしさを感じました。特に、学校交流では、すぐに台湾の生徒たちに溶け込み、対応力の高さを感じることができました。英語の体験授業では、言葉の壁を越え自分たちなりの方法で意思疎通を図る努力がみられ、相手の言葉や気持ちを理解したいという意欲と、異文化への興味を持つことができました。また、B & Sの台北市内自由散策では、台湾の大学生の力を借りたものの、計画から実施まで自分たちの力で成し遂げたという実感が、生徒の自信に繋がったと思います。国内では味わえない、かけがえのない良い経験ができ、充実した時間を過ごせました。この海外での交流経験を生かして、これから国際的な社会に対応していくもらいたいと思います。



▲忠烈祠にて

SHOWA GAKUIN

山本 徹 理事長 「市川市政功労賞」受賞



▲ 山本 徹 理事長
山本理事長が市川市政功労賞を受賞され、受賞の経緯・学校教育について伺った。

「今回の受賞は、長く市川市の公平委員会委員長、委員として仕事をしてきたことによるものです。公平委員の仕事は、市の職員の方々が安心して職務に邁進できるよう、人事や服務について中立な立場で相談に応じたり不服を審査することです。昭和学院は、今とても勢いがあり、文武両道でこれまでになく成果が出ています。進学実績は、

東京工業大・筑波大・早稲田大・慶應大などの難関大学にたくさん入学できるようになりました。また、千葉県を代表する部活動の名門校として、新体操の全国優勝等優れた実績を挙げています。生徒の皆さんのが学校生活と将来の人生に大きな目標を持ち、その実現のために充実した一日一日を送るように、一層の教育指導の充実強化に取り組んで参ります。」と語っている。



▲ 受賞式後 村越市長と

桜 和 祭

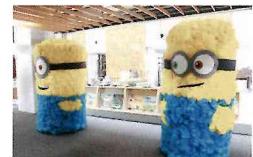
— 平成最後、僕らは昭和に恋をする —



昭和学院中学校・高等学校の文化祭「桜和祭」が、9月22日(土)、23日(日)の2日間開催された。両日とも天候に恵まれ、来場者は約3700人となり、大盛況であった。

今年の桜和祭のスローガンは、「平成最後、僕らは昭和に恋をする」。生徒の母校愛や、日頃お世話になっている方々への感謝の気持ちを各団体のパフォーマンスに織り交ぜ、来場して下さった全ての方々に感じていただきたい、という思いが込められていた。各部の展示発

表では、日頃の研究や活動の成果を披露した。中高の各クラスは、学年の特色や特性を活かした展示発表で、生徒が年々成長していく姿を感じることができた。中学1年生は、英語を用いた体験型ゲームと劇やダンスなどのパフォーマンスを、中学2年生は、映画上映と体験学習コーナーを、何もかも全てオリジナルで作成。中学3年生は、修学旅行で学んだ知識を基に、座禅・作法体験などを展示発表。ししおどしと稻荷神社の鳥居の模型は、まるで京都いるかのような気分にさせてくれた。高校生については、今年度より劇部門、飲食部門、発表部門、物作り体験部門、アトラクション部門の5部門に分かれて実施した。またミニオンのオブジェやモザイクアートといった、インスタ映えスポットも作成し、来場者を楽しませた。至る所で生徒会及び実行委員会が考案した企画はおおいに盛り上がった。在校生参加による中夜祭も、会場全体が熱気に包まれるほど盛況であった。今年度の昭和学院の桜和祭にご来場いただいた方々、誠にありがとうございました。進化を続ける昭和学院の桜和祭。来年度の桜和祭では、どのような発展が見られるか、ご期待下さい。



▲ 盛況だった「インスタ映えスポット」

海外教育研修



▲ ピースアーチ(アメリカとカナダの国境)
7月23日から8月14日までの3週間、カナダのバンクーバー郊外のラングレーで高1の海外教育研修が行われました。午前中は英会話の授業、午後は市庁舎、老人ホームの訪問、農場見学やラングレーの名所を散策、さらにバンクーバーやビクトリアの1日観光もあり、まさにカナダを満喫できるプログラムとなっています。英会話の授業はダンスやゲームなどのアクティビティを取り入れたもので、英語の苦手な生徒たちも楽しんで学ぶことができます。最初の1週間は言葉が通じないところ不安でいっぱいの生徒たちでしたが、ホストファミリーの心遣いや一緒に過ごしたバディとの交流を通して気持ちも和み、特に週末はファミリーといろいろな体験をしたことで、英語で話す楽しさやカナダ人の生活文化を知ることができました。今回のホームステイを通して感じたことは、日本語の通じない環境の中で3週間、英語を学ぶことはとても重要だということです。自分の意思を伝えるために一生懸命英語を話すことで次第に語学力がつき、英語でコミュ

Vancouver in Canada

ニケーションがとれた時に見せる生徒たちの自信に満ちた表情は見逃せないものでした。

この3週間で生徒たちは3つの大切なものを得ました。ファミリーやバディとの信頼関係、共に過ごした昭和学院の仲間、そして英語を学び続けること。これからの社会では英語はコミュニケーションの手段としてだけではなく、世界とつながるために必要な能力の一つとなるでしょう。そのことを実際にカナダで体験した生徒たちに、これからも英語を身近なものとして学び続けていて欲しいと思います。



▲ 英語の授業風景



▲ スポーツディ

SHOWA GAKUIN

中2 職場体験



▲神田明神

中学2年生は、11月15日(木)と16日(金)に職場体験学習に参加した。これは、本校のキャリア教育の一環として毎年実施されているものである。普段は店で買い物をしたり、公共施設や病院などを利用したりする立場の生徒が、お客さまを迎える立場になり、実際の仕事を体験させていただく貴重な機会である。働く人々の喜びや苦労を少しでも実感し、望ましい職業観・勤労観を身につけることを目的として取り組んでいる。

2学期にはそれぞれの希望に応じて体験事業所が決まり、事業所ごとのグループリーダーも決定した。その後、体験当日までに、職業に関する調べ学習や事前打ち合わせに関する電話連絡、事業所との打ち合わせ等に取り組んだ。入念に練習してからおこなった事業

所への電話では、緊張している生徒が多かったが、必要な内容については漏れなく確認を取ることができた。事前打ち合わせを行ったあとには、事業所の方々に丁寧に対応していただいたことに感謝を受けて、体験当日に向けて心構えができたようであった。

職場体験当日は、グループごとに自分たちで集合時間・集合場所を決めて事業所へ向かった。実際の体験では、普段経験することのできない専門技術を要する職業や、地元市川市に古くからある事業所を中心として、働くことの充実感や大変さを実感しながら、積極的に体験活動に取り組んでいた。また、企業見学に参加した生徒は、企業の内部見学や体験実習において、企業の方の説明を真剣に聞き、企業の仕組みに理解を深めることができたようであった。

今回の職場体験は、生徒たちが働く現場の雰囲気に触れることで、自身の将来について具体的に意識する契機となった。また、挨拶や礼儀の大切さについても実感することができた。この体験で学んだことを学校生活においても活かし、将来の自己実現に向けて努力し続けていくことを期待している。



▲ピーターパン(製パン店)

新大学入試への新たな取り組み

高大接続改革の提言により、本校ではアクティブラーニング型の授業実施やICT教育の充実を図り、中学生全員にiPadが貸与されている。昨年度には、中高全教室に電子黒板が設置され環境整備が整った。そして本年度は高1にもiPadが貸与され、1学期より新たな取り組みが始っている。

《Online Speaking Training》

2020年度より、大学入試において従来のような「読む、聞く、書く」の3技能だけでなく、「話す」技能も求められるようになります。それに伴い本校の英語教育では、「話す力」を強化するために「Online Speaking Training」を導入しました。これは、パソコンを使用してフィリピンにいる外国人講師と一緒にリアルタイムに会話をを行うレッスンです。通常の授業では、一対一の発話機会を確保することが難しいのですが、生徒一人につき外国人講師が一人つくるので、レベルの高いスピーチングの練習を行うことが可能です。最初は消極的だった生徒も回を重ねるにつれ、このレッスンを待ちにし、英会話を楽しんでいる様子です。大学入試対策も含め、これからも英語をツールとして活用できる人材の育成に力を入れていきます。



▲オンラインスピーチングの様子

が難しいのですが、生徒一人につき外国人講師が一人つくるので、レベルの高いスピーチングの練習を行うことが可能です。最初は消極的だった生徒も回を重ねるにつれ、このレッスンを待ちにし、英会話を楽しんでいる様子です。大学入試対策も含め、これからも英語をツールとして活用できる人材の育成に力を入れていきます。

《クエストエデュケーション》

今年度の高校1年生は探究学習の一環として、クエストエデュケーションというプログラムに取り組んでいます。それは1年間を通して、実在する大手企業数社から出されるミッションに対し生徒たちが力を合わせ、考え、行動し、自分たちだけのオリジナルの答えを見つけることを体験的に学ぶというものです。普段の授業とは異なり、正解のない問い合わせに向き合うことで、初めのころは戸惑いを見せる生徒が大半でした。しかし、徐々に各グループでチームワークを發揮し、ミッションに真剣に取り組むようになりました。今後はクエストカップという全国大会を視野に入れながら、各グループで準備と発表を行います。そして、この活動を通して自ら進んで学ぶ力を養っていきます。



▲ミッション遂行中

芸術鑑賞会



生徒も共演

TAP DOI「リズム・エンターテイメントショー」

10月31日(水)・11月1日(木)に、伊藤記念ホールにて芸術鑑賞会が行われた。今年度は、TAP・DO!による「リズム・エンターテイメントショー」を鑑賞した。

タップダンスを中心に、カップやパイプなど日常の道具を使った技の披露を含むさまざまなジャンルの芸が行われた。多様な技を持つ演者たちが観覧者をまきこみ、見ている者が思わずクスッと笑ってし

まうような芸が多々あった。その中でも昔話の「桃太郎」を題材としたユーモアあふれる寸劇は、起承転結の「転」の場面に演者のオリジナルな動きや言葉があり、想像を超える結末にはみなが驚いた。生徒たちはユーモアあふれる演者のコミカルな動きや言葉に終始夢中になって鑑賞しており、あっという間の2時間だったようだ。



▲TAP DOI のみなさん

SHOWA GAKUIN

車イスフェンシング

学校訪問プロジェクト

SGアカデミー



▲ 加納選手・中川選手と全校生徒

10月24日(水)千葉県と日本車椅子フェンシング協会主催により、第5回SGアカデミーが実施された。2020年東京オリンピック・パラリンピックで県内開催競技の一つである車椅子フェンシング。日本代表の加納慎太郎選手と中川清治選手による実演は迫力があり、会場は驚きと興奮に包まれた。2018年アジア大会で獲得された銅メダルも披露して下さり、パラリンピックならではのメダルに感心し、応援しようという機運が高まっていた。



▲ 試合ながらの実演

全国高等学校総合体育大会・全国中学校体育大会 結果

新体操部 女子団体 優勝 塩屋 恵美子先生

▲ インターハイ
2018新体操表彰式

私たち新体操部は8月10~12日、静岡県・このはなアリーナで行われた、全国高等学校総合体育大会新体操大会に出場し、団体優勝することができました。今年も「全国制覇」を目標に掲げ、「己に勝つ」を合言葉に、部員全員で挑み続けてきました。団体演技の曲目は「ノートルダムの鐘」です。主人公が自分の運命に立ち向かう姿勢や悲恋の物語を演じられるように、演技の技術は勿論ですが、表現力の向上に力を注ぎました。また、努力の全てを本番で出し切れるメンタルの強さを持ち合わせることができたからこそ、手にできた最高の結果だったと思います。皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。

高校 ソフトテニス部

高橋 章典先生



女子個人 第5位

齋木・吉野組

高校 水泳部

関谷 直樹先生

女子100m背泳ぎ 第14位
女子200m背泳ぎ 第14位

星 美里さん

女子200mバタフライ 第16位
小川 幸美さん

中学校 ソフトテニス部

高原 良江先生



女子個人 第5位

星・小柴組ペア



女子個人 第5位

町田・小川ペア

中学校 水泳部

矢野 俊彦先生



女子100mバタフライ 第5位

鶴田 未来さん

中学校 放送部

木村 一也先生

第35回NHK杯
全国中学校放送コンテスト 全国大会

ラジオ番組部門 優良賞

第73回国民体育大会

福井しあわせ元気国体 2018 国民スポーツ大会

9月19日(水)国民体育大会出場選手壮行式が行われた。本校から4部27名の選手団が派遣され、福井県で熱戦が繰り広げられた。結果は以下の通り。

水泳

少年A 女子200m背泳ぎ 第8位 星 美里
女子400mメドレー リレー 第6位 千葉県
(星・鈴木・飯塚・松村)
少年B 男子200mメドレー 第6位 寺門 弦輝



▲ 壮行式の様子

バスケットボール

少年女子
第5位
千葉県
(選抜)

ソフトテニス

少年女子 1回戦惜敗
千葉県(選抜)
(齋木・吉野・藤本・
日高・三関・横山・
原・星)

新体操

少年女子個人 第4位
石井・中村・岩沢・椿井
少年女子総合(個人・団体)
第6位 千葉県
(石井・中村・岩沢・椿井・田中)

..... 文化教養部主催 第6回文化講演会 SGアカデミー



▲ 熱演される石黒氏

10月6日(土)奨学会文化教養部主催の文化講演会が開催された。昨年から保護者と全校生徒が同じ会場で講演を聞くというスタイルをとっている。家族共通の話題にして頂いたいという願いからである。今年度の講師は石黒由美子氏。北京オリンピックシンクロナイズドスイミング(現アーティスティックスイミング)元日本代表である。石黒氏は小学校2年生のとき交通事故にあい、顔面を800針も縫う大怪我を負った。記憶喪失や顔面麻痺、視力障害、難聴などの様々な後遺症に苦しみながらも母と二人で夢の舞台であるオリンピックを目指し2008年北京オリンピックに見事出場を果たしたという経歴の持ち主だ。本日のテーマは「夢をあきらめない」。石黒氏が登場すると、会場は一気に華やいだ雰囲気になった。とても明るくはつらつとした印象だ。美しい。整形手術をするとシンクロの練習ができなくなってしまうので、まったくしていないという。最初の動画から石黒氏の世界に引き込まれ、「人生は振り子と同じで悪いことがあれば、同じだけ良いことがある。」この言葉が印象に残った生徒が多い。石黒氏の話の中に「大丈夫だよ、由美ちゃん！」



▲ 夢を叶えた夢ノート

というお母さんの言葉が何度も登場した。医師に二度と回復できないと言われても諦めず病院を探し、学習障害のため文字や数字が理解できなければ勉強まで毎日一緒に勉強を続け障害を克服した。「奇跡も100回続けば実力。」母の深い愛情を感じる。どうしたらよいかわからないときに頼るべき人とは「お金と口を出す人です。」と石黒氏は言い切った。「私のために一生懸命働いて口とお金を出してくれたのが母でした。」自分の夢から、誰かのために夢を叶えよう！と思うようになった。すると最大限の力が發揮でき、夢が現実になった。あきらめない気持ちが大切だ。講演会後生徒たちに感想を書いてもらった。その一部を紹介したい。「今の現状であがき続ける。あがく方法がわからなくなったら、信頼できる大人に頼ってください」という言葉が的確すぎるアドバイスで心に染みました。すごく濃密でとても有意義な時間を過ごさせていただきました。」



▲ 花束贈呈

バス研修旅行

11月8日(木)に、奨学会バス研修旅行が実施された。参加者は、学校長、奨学会会長、保護者、教職員の総勢78名である。美しい紅葉や揺れるススキの穂を眺めながら、昼食会場である八ヶ岳チーズケーキ工房に到着。高原野菜を使ったチーズ料理に舌鼓を打った後、洋菓子で有名なシャトレーゼ白州工場へ向かった。その製品は原材料へのこだわりで知られる。南アルプスのふもと、森の中に工場はある。アイスクリームの試食をしながら、その製造過程をガラス越しに見学した。続いて、勝運で知られる武田神社に参拝した。この神社は、戦国武将武田信玄を祭っており、武田一族の館跡に建てられている。「三葉の松」「姫の井戸」「甲陽武能殿」などを散策した。最終目的地はシャトー勝沼。広がるぶどう畑の中にある老舗のワイナリーである。地下貯蔵庫の暗室の見学などを行った後、試飲やショッピングを楽しんだ。秋晴れの一日、自然と歴史に触れ、親睦の深まった有意義な研修旅行であった。



シャトー勝沼



武田神社

惊喜如火風不動如林山侵

千葉県私学振興大会

10月13日(土)に幕張メッセ国際会議場において千葉県私学振興大会～私学教育を考える集い～が開催された。大会では、私立高校をめぐる情勢の報告や全国総合体育大会・東海総体等で優秀な成績を収めた選手たちが紹介された。本校からは新体操部のメンバーが紹介された。そして、紹介された多くの選手たちの代表として本校3年生柳井優さんが挨拶を行った。さて、大会決議としては、私学経営の健全化のために「学費格差の是正」や「保護者の経済的負担の軽減」を図ること等4項目が決議された。今後の千葉県私学教育の充実を実現させたい。



▲ スポーツ優秀選手と森田知事

桜和祭・学校説明会への協力



例年、奨学会は学校行事に積極的に関わり、協力している。特に今年度は中学校・高等学校の学校説明会にも協力し、保護者の立場からも昭和学院を盛り上げていこうと意欲的に活動している。

▲ 桜和祭(バザー) 桜和祭では奨学会室やバザーの企画、警備係・場内係に協力することで生徒の活動を盛り上げた。また、学校説明会では受付や案内の仕事をしながら、参加した方に昭和学院の実情を保護者目線で説明し、学校に対する理解を深めていただく一役を担うことができた。今後も様々な行事に協力することで、生徒・保護者・先生方の絆を強くし、益々良い学校となる様活動していきたい。会員の皆様のご協力に感謝している。



▲ 中学校説明会

中高等学校 説明会

中学校・高等学校の各々の学校説明会が行われた。本校の教育方針や入試概要を理解していただく他に、実際に足を運んでいただくことで、本校の雰囲気を感じ、今進めている学校改革を見ていただくことが目的だ。中学校は4回、高等学校は5回の実施であった。

中学校の説明会には例年より多くの方が参加する中、模擬受験体験やポイント解説、公開授業と施設の見学、入試相談など毎回参加していただいても新しい発見があるような企画を実施している。高等学校は英語教育に力を入れてることを軸に、本学院の教育への取り組みを様々な角度から紹介している。

参加された方からは「施設が充実している。」「先生方の対応がとても良い。」「生徒さんの雰囲気が明るく楽しそうである。」などのお褒めの言葉をいただいている。昭和学院のよさを存分に見ていただき

き、多くの生徒、児童の方が本校を志望校としてくださるよう、魅力ある学院づくりを今後も目指していきたい。



▲ 真剣に模擬試験を受ける児童

平成31年度 入試要項

中学校 併願	一般	マイプレゼン テーション	マイプレゼンテーション イン イングリッシュ	適性検査型 特進(特待生)	アドバンストチャレンジ 特進(特待生)
試験日	1月20日(日) 8:30~	1月21日(月)		1月23日(水) 8:30~	1月25日(金) 8:30~
		9:00~	15:00~		
入試科目	2科 国語・算数 各50分	自己表現文 40分 プレゼンテーション 質疑応答	自己表現文(日本語)40分 プレゼンテーション(英語) 質疑応答(英語)	適性検査型テスト 各45分 ① 適性検査I(読解力・表現力) ② 適性検査II(教科融合型)	2科 国語・算数 各50分 4科 国語・算数 各50分 社会・理科 各30分

高等学校	前期選抜試験				後期選抜試験
募集人員	(男女)156名				(男女)20名
志望	第1志望		併願		第1志望 併願
入試	A推薦		B推薦		特進(特待生) 一般
入試日時	1月17日(木) 9:00~	特進(特待生) チャレンジ 希望の方は	1月17日(木) 又は 1月18日(金) 両日とも9:00~	特進(特待生) チャレンジ 希望の方は	1月18日(金) 9:00~
			①「英・数・国」 各50分間 英語: リスニング テスト含 ②面接(個人)		2月5日(火) 9:00~
入試科目	特進(特待生) 入試に同じ	①「英・数・国」 各50分間 英語: リスニング テスト含 ②面接(個人)	特進(特待生) 入試に同じ	①「英・数・国」 英語: 75分 英語: リスニング テスト含 数学・国語: 各50分間 ②面接(個人)	①「英・数・国」 各50分間 英語: リスニングテスト含 ②面接(個人)

*試験について詳しくは要項をご覧下さい。

(お問合せ) 〒272-0823 千葉県市川市東菅野2-17-1 TEL047-323-4171~5 本部事務局